

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
昭和56年4月13日 第2報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Dinobryon bavaricum</i>	960	◎	◎
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	200		
(黄鞭) <i>Mallomonas reginae</i>	20		
(珪) <i>Melosira italica</i>	160		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	280		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	600	○	
(珪) <i>Synedra acus</i>	20		
(珪) <i>Navicula</i> sp.	20		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	20		
(渦) <i>Gymnodinium</i> sp.	40		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	300		○
(緑) <i>Micractinium pusillum</i>	160		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus</i> var. <i>mirabile</i>	20		
(他) その他の植物プランクトン	100		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	1180	40.7	71.8
(珪) 珪藻綱	1100	37.9	13.3
(渦) 渦鞭毛藻綱	40	1.4	1.3
(褐) 褐色鞭毛藻綱	300	10.3	13.1
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	180	6.2	0.4
(他) その他のプランクトン	100	3.4	0.0
総 細 胞 数	2900		
種 類 数	14	総体積 (μm^3)	3.90E+06

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
黄色鞭毛藻綱	<i>Dinobryon bavaricum</i>	960

第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Asterionella formosa</i>	600

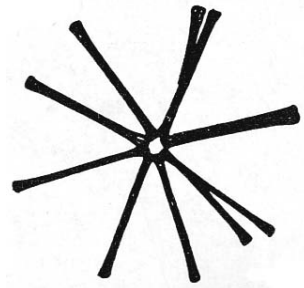
植物プランクトン第1優占種



Dinobryon bavaricum
(ディノブリオン)
黄色鞭毛藻綱

各細胞は細長く、サヤの中に入りており長短2本の鞭毛を有し、木の枝のような群体を形成する。群体は回転しながら活発に泳ぎ回る。

植物プランクトン第2優占種



Asterionella formosa
(ホシガタケイソウ)
珪藻綱

4~32個の細胞が端で接着し、ホシガタの群体を作る。細胞の殻面を見ると(通常は殻環面が見えている)両端が丸くなった長い棒形をしている。琵琶湖では以前から多く見られる種類である。